

12月20日(土) 東京コンファレンスセンター・品川 大ホール

10:50~11:00 開会の辞

高山 哲治 (徳島大学)

11:00~11:24 座長:中川 勇人 (三重大学) / 日浅 陽一 (愛媛大学)

■一般演題1「O-1」

O-1-1 血清NK細胞活性化受容体リガンドによる高リスクMASLDの拾い上げ
荒井 潤 (愛知医科大学肝胆膵内科)

O-1-2 HBV感染マウスを用いた抗ウイルス療法による遺伝子発現変化の解析
平岡 敬一 (広島大学大学院 医系科学研究科消化器内科学)

O-1-3 SVR後肝細胞癌発症におけるMRP1依存的ミトコンドリア障害とオートファジー抑制の役割
長岡 克弥 (熊本大学大学院 生命科学研究部 消化器内科学講座)

11:24~11:48 座長:水上 裕輔 (旭川医科大学) / 小川 佳宏 (九州大学)

■一般演題2「O-2」

O-2-1 新規マウス脂肪膵・膵癌同種同所移植モデルを用いた基礎的検討
篠田 崇平 (山口大学大学院医学系研究科消化器内科学)

O-2-2 変異型GNASによる細胞外小胞EVを介したIPMN関連膵癌進展抑制機序の解明
大滝 有 (旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野)

O-2-3 膵特異的Trpv6欠損による膵炎増悪メカニズムの検討
松本 謙太郎 (東北大大学院医学系研究科消化器病態学分野)

11:48~12:30 座長:中本 安成 (福井大学) / 藤城 光弘 (東京大学)

■プレナリーセッション1「P-1」

P-1-1 原発性肝癌における多倍化診断ツールの開発とその悪性度の病理学的探索
松浦 敬憲 (神戸大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野)

P-1-2 細胞外小胞を介した好中球エラスターによる肝細胞タンパク質分解と肝障害
—アルコール性肝炎の標的候補
荻野 学芳 (産業医科大学第3内科学/Yale School of Medicine, Yale Liver Center)

P-1-3 補体活性化因子MASP-1およびMASP-3のMASLD病態形成における役割
林 学 (福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座)

12:30~13:12 座長:藤原 靖弘 (大阪公立大学) / 岡本 隆一 (東京科学大学)

■プレナリーセッション2「P-2」

P-2-1 線維芽細胞上のビタミンAトランスポーターを介した腫瘍微小環境の再構築
水谷 泰之 (名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学/名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学)

P-2-2 膵臓KRAS変異は単球由来IL-1 β を介して心臓特異的線維化リモデリングを誘導する
池田 京平 (京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学/京都府立医科大学大学院 病態分子薬理学)

P-2-3 母体の口腔由来Pathobiontの垂直伝播が児の腸炎病態に及ぼす影響についての検討
原口 雅史 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器内科学分野)

13:12~13:55 休憩(昼食)

13:55~14:19 座長:飯島 克則 (秋田大学) / 松本 主之 (岩手医科大学)

■一般演題3「O-3」

O-3-1 食道アカラシアにおけるHSV-1由来miRNAの検討
菫 裕貴 (鳥取大学医学部 消化器腎臓内科学分野)

O-3-2 クローン病小腸病変における抗tumor necrosis factor製剤療法とウステキヌマブ療法の狭窄への影響
和田 嵩史 (大阪公立大学 大学院医学研究科 消化器内科学)

O-3-3 Protein Kinase RのGADD45Aを介した膵癌増殖制御機構
沼田 結希 (愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学)

14:19~14:43 座長:正宗 淳 (東北大大学院) / 田中 靖人 (熊本大学)

■一般演題4「O-4」

O-4-1 間葉系幹細胞由来細胞外小胞の凍結乾燥法の有用性および急性肝不全モデルに対する治療効果の検討
鈴木 郁也 (山形大学 医学部 内科学第二講座)

O-4-2 レンバチニブ耐性肝細胞癌に対するニューロピリン1を標的とした治療の可能性
中村 昌人 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)

O-4-3 急性肝障害における二種類の肝再生細胞集団の関与
合谷 孟 (九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学)

14:43~15:25 座長:山下 太郎 (金沢大学) / 西川 浩樹 (大阪医科大学)

■プレナリーセッション3「P-3」

P-3-1 肝細胞癌において ALDOA は DNA 修復および G2/M チェックポイントに協調して
プラチナ系抗がん剤および PARP 阻害薬の感受性を規定する

三橋 威志 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 消化器内科)

P-3-2 ラット MASH モデルにおけるサクビトリル/バルサルタンの抗線維化作用とインテグリン α 8 の関与
河村 逸外 (名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器代謝内科学)

P-3-3 循環腫瘍細胞の分子解析による肝細胞癌全身薬物療法における癌進展機構の検討
村田 陽介 (福井大学 医学系部門 消化器内科学)

15:25~15:40 休憩 (コーヒーブレイク)

15:40~16:22 座長:児玉 裕三 (神戸大学) / 木暮 宏史 (日本大学)

■プレナリーセッション4「P-4」

P-4-1 切除腫瘍における間質 NNMT の予後マーカーとしての可能性:
シングルセル解析に基づく細胞種特異的検討

織田 崇志 (岡山大学大学院 消化器・肝臓内科学)

P-4-2 PI3K 活性化肝外胆管癌の代謝特性に基づく個別化治療法の開発
早田 有希 (三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学講座)

P-4-3 PI3K 亢進型新規胆道癌マウスモデルの創出と新規薬物療法の開発
土屋 洋省 (横浜市立大学 医学部 消化器内科学教室/
横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター内科)

16:22~17:04 座長:穂苅 量太 (防衛医科大学校) / 土屋輝一郎 (筑波大学)

■プレナリーセッション5「P-5」

P-5-1 腸上皮化生におけるエピゲノム不安定性と発癌メカニズム
竹内 千尋 (東京大学大学院医学系研究科 消化器内科/星薬科大学エピゲノム創薬研究室)

P-5-2 迷走神経肝臓枝電気刺激を用いた腸炎抑制機構の解明
須永 将悟 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))

P-5-3 がん関連線維芽細胞に由来する Thrombospondin-2 を標的とした治療は高悪性度大腸癌の免疫微小環境を
変容させ治療抵抗性を改善する
岩根 康祐 (京都大学大学院医学研究科 消化器内科学)

17:04~17:32 座長:大塚 基之 (岡山大学) / 原田 大 (産業医科大学)

■プレナリーセッション6「P-6」

P-6-1 Hydroxynonenal は代謝機能障害関連脂肪性肝疾患 (MASLD) に特徴的なミトコンドリアの異常を
引き起こす
木戸 秀典 (金沢大学 消化器内科)

P-6-2 HCV 排除後の筋肉量変化に関連する血中 miRNA と骨格筋分化への影響に関する検討
大原 正嗣 (北海道大学大学院医学研究院 内科学講座消化器内科学教室)

17:32~18:00 座長:上野 義之 (山形大学) / 伊藤 清顕 (愛知医科大学)

■プレナリーセッション7「P-7」

P-7-1 ヒト iPS 細胞由来肝細胞オルガノイド iHO の開発
志水 太郎 (東京科学大学消化器内科)

P-7-2 急性肝不全において肝細胞におけるがん抑制遺伝子 p53 活性化は Leukemia inhibitory factor (LIF) を
介して骨髄由来マクロファージを動員し肝障害を増悪させる
成 志弦 (大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学)

18:00~18:10 総評

坂本 直哉 (北海道大学)